



公益財団法人横浜 YWCA
2012 年度 10 月～3 月 事業報告

公益財団法人 横浜 YWCA

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 225

Tel: 045-681-2903 Fax: 045-662-0926

Mail: office-yokohama@ywca.or.jp

<http://yokohama-ywca.jp/>

2012 年度を終えて

当法人は、2012 年 10 月 1 日付で公益財団法人への移行登記が完了し、本年度は、特例民法法人と公益財団法人のそれぞれの事業及び会計報告を作成することとなった。本事業報告書は、公益財団法人に移行後の報告書となっている。

公益目的事業は、特例民法法人時代から継続して行っている暴力を受けた女性の支援、精神障害をもつ女性の就労支援、地域社会で働く人材の育成と生涯学習を柱に、公益性の確保と多数の利益の増進につなげるために事業内容の充実に努めた。

暴力を受けた女性支援の一環である離婚講座は、法テラス神奈川（日本司法支援センター神奈川地方事務所）の後援をいただいております。行政機関からの紹介もあることから、参加人数が増加傾向にある。離婚講座は、参加者を女性に限定し、離婚の際に解決しなければならない女性特有の課題や DV 問題に対して、女性弁護士が丁寧に実践的な説明を行っている。民間にしかできないきめ細やかなサービスを行政機関と連携し、適切な情報を不特定多数の女性に届ける役割の重要性を感じている。相談事業では、法律相談及び心理カウンセリングの需要が伸びている。一般女性相談に関しては、利用件数はさほど多くはないが、何を、どこに、どのように相談すればいいか困っている女性の相談窓口として必要な事業である。

横浜市職場実習事業の協力事業所に指定されている「花が楽しめる花花カフェ」では、周辺の会社員の利用が少しずつだが増え始めている。飲み物のテイクアウトや季節限定商品の開発を実習生とともに試行錯誤しながら続けている。貸し教室利用者への割引も開始し、売り上げの向上を目指している。

カフェ運営以外の課題は、実習生を一般就労につなげるプロセスである。目標とする勤務時間や日数に不安を抱える実習生には、体調管理を含め、横浜中部就労支援センター、精神保健福祉ボランティアグループ「かもめサポート」、

当法人職員の精神保健福祉士とで特に密な連絡を心かかげている。

地域に開放されたコミュニティ・スペース「わみゅう」を利用した高齢者向けのプログラムは好評である。介護保険制度改正によりデイサービスが使いにくくなった高齢者に対し、地域での交流やレクリエーションの機会を提供することは、今後さらに求められる事業になると思われる。そこで、プログラムの企画立案、高齢者の話し相手を担う地域ボランティアの養成が急務である。

人材育成と地域社会の健全な発展のために、今年度は無料公開講座として、女性の人権講座、クールビズイベント、クリスマス講座を開催した。また、外国籍の住民が多い中区の特徴をふまえ、大災害のときに外国籍住民の援助者になるための英語講座を 2 回開催した。

収益事業においては、安定収入を図るべく、一部の教室の時間貸し教室からテナント貸しへの転換を検討中である。

また会館の耐震性に関して、横浜市特定建築物耐震改修等事業の補助制度を利用し耐震診断を行った結果、補強が必要な箇所が判明した。そのため、2013 年度中に工事を行う予定である。耐震強度をあげるために一階に壁の新設が必要になり、花花カフェ及びコミュニティ・スペース「わみゅう」の配置が大きく変わることが予測される。

2013 年は、公益財団法人としては 1 年目の年ではあるが、国際 NGO である YWCA としては 100 年目にあたる。100 年前と比較すれば、女性の社会参加は目覚ましく進んだ。しかし、社会の歪や暴力の被害者になるのは、圧倒的に女性が多いのが現実である。国際的な視点を忘れず、人権の向上、福祉の増進、平和な社会の実現に貢献できる公益財団法人を目指したい。

代表理事 常山（清水）祐子

I. 公益目的事業

1. 精神障害女性就労支援

前期に続いて、精神障害を抱える女性に、喫茶店「花が楽しめる花花カフェ」において職場実習の機会を提供し、必要に応じて助言や精神的サポートを行った。「カフェ」は、横浜市職場実習事業の協力事業所でもあり、精神保健福祉ボランティアグループ「かもめサポート」と協働で運営を行っている。職場実習生は、カフェ業務の他、フェアトレードやリサイクル衣類コーナー（ブティックふるふる）で接客を担当することにより、会話力や対人関係能力、規則正しい生活習慣、仕事に対する集中力や持久力といった社会参加に必要な力と自信を取り戻すことができている。

今回は、実習経験を積んだ実習生が多かったことから、実習生と共にカフェ業務等を行いながらサポートを行うボランティア（するボラ）を休止し、一定のスキルを身につけた実習生1名を新たに副店長とした。また、実習終了後の進路について当事者本人が自ら選択できるよう多様な選択肢を提示し、今回は3名が実習を終えた。

- 実習生：のべ7名（終了3名、新規登録2名）
- 自習日数：のべ330日（1日6時間）
- 喫茶利用者数：のべ2180名

2. 暴力を受けた女性支援

女性団体であるという特性を最大限に活かし、女性の人権の視点に立脚した支援を始めて3年がたち、弁護士、カウンセラーによる相談は確実に広がっている。また、離婚に関する法的な基礎知識、ドメスティック・バイオレンス（DV）やモラルハラスメントへの対処法について分かり易く解説する離婚講座は、講師に弁護士を迎えて開催しており、多くの参加者を得ている。

暴力を受けた女性への理解をより深めるため、今回は、初めて「暴力を受けた女性のためのサポーター養成講座Ⅰ」の開催を行った。また1月と3月には、一般市民を対象とした啓発講座を開催した。

(1) 相談・支援

- 心理カウンセリング（予約制） 相談者：のべ32名
- 女性相談（予約制） 相談者：のべ7名
- 弁護士相談（法律講座受講者のみ） 相談者：のべ18名 後援：法テラス神奈川

(2) 「女性のための法律講座 よくわかる離婚講座」

全6回 講師（弁護士）：川口彩子、白石美奈子、東玲子、宮下真理子
会場：横浜YWCA 参加者：のべ68名

(3) 啓発講座

① 暴力を受けた女性のためのサポーター養成講座Ⅰ

- 第1回「保護施設から見た、女性を取り巻く社会の現状」
日時：2012年11月17日（土）10:30～12:30
講師：横田千代子（婦人保護施設いずみ寮施設長） 会場：横浜YWCA
参加者：15名
- 第2回「サポートの視点について」
日時：2012年11月17日（土）13:30～14:45 講師：ゆうメンバー、元自治体相談員

- 会場：横浜 YWCA 参加者：6名
- 第3回「DVとは？DV防止法とは？」
日時：2012年12月1日（土）13:00～15:00 講師：白石美奈子（横浜弁護士会）
会場：横浜 YWCA 参加者6名
 - 第4回「公的支援について」
日時：2012年12月1日（土）15:15～16:45 講師：元自治体相談員
会場：横浜 YWCA 参加者6名
 - 第5回「女性のための法律講座☆ よくわかる離婚講座」
日時：2012年12月10日（月）13:00～15:00
講師：白石美奈子（横浜弁護士会） 会場：横浜 YWCA
 - 第6回「関係機関巡り」
日時：2012年12月10日（月）14:30～16:30
場所：横浜家庭裁判所、中区役所、横浜地方裁判所、横浜弁護士会館、法テラス神奈川
参加者：2名
 - 第7回「気づきのワークショップ（全体を振り返って）」
日時：2013年1月19日（土）14:30～16:00
ファシリテーター：木村弓子（武蔵野大学心理臨床センター主任カウンセラー）
会場：横浜 YWCA 参加者4名
- ② 特別プログラム ゆう亭・新春落語会「こころのサプリメント」
日時：2013年1月23日（土）14:00～16:00
出演：柳亭燕路（落語家）、木村弓子（武蔵野大学心理臨床センター主任カウンセラー）
会場：横浜 YWCA 参加者：34名
- ③ 特別プログラム「さらにもっとモラルハラスメントを知ろう！！」
日時：2013年3月9日（土）14:00～16:00 講師：白石美奈子（横浜弁護士会）
会場：横浜 YWCA 参加者：26名

(4) 国際会議への参加

- ① International Training Institute on Violence Against Women and Peace Building
日程：2013年11月8日（木）～13日（火） 場所：韓国・ソウル
テーマ：女性に対する暴力と平和構築 参加者：1名
- ② 国連女性の地位委員会へのオブザーバー参加
日程：2013年3月4日（月）～7日（木） 場所：米国・ニューヨーク
テーマ：女性及び女兒に対するあらゆる形態の暴力の撤廃及び予防
参加者：1名

3. 女性の心身の健全な育成と福祉の増進に資する各種講座の提供

前期に続き、声を出すことや身体を動かすことによる健康づくりを目的としたコーラス及びフラダンスの講座を開催した。また、女性の多様な生き方について理解を深めることを目的に、夫婦別姓について話し合う場を単発で、個人の信仰に関係なく聖書をジェンダーの視点で読みながら自由に意見交換を行う会を定期的で開催した。

(1) 女性の健康をテーマにした健康講座の開催

- ① のびのびコーラス
後期（10～3月）：計12回 講師：関根良子（音楽教員、チェンバロ奏者）
会場：横浜 YWCA 在籍者：7名

② フラダンス

	Ⅲ期 (10～12月)	Ⅳ期 (1～3月)
昼クラス (月)	計6回	計6回
夜クラス (水)	計6回	計6回
在籍者	14名	14名

講師：カプア田中フラスタジオ、ティアレ ヌイ スタジオ
会場：横浜 YWCA

(2)女性の多様な生き方について理解を深める講座の開催

① 100万人のキャンドルナイト「夫婦別姓だと子どもがかわいそうってホント?」

日時：2012年11月30日(金) 18:30～20:30

スピーカー：石山亜紀子 (男女共同参画センター横浜 相談員)

会場：横浜 YWCA 参加者：11名

② 聖書を冒険する会

全5回 ファシリテーター：菊地恵美香 (日本基督教団六角橋教会牧師)

会場：横浜 YWCA 参加者数：のべ27名

4. 人材育成及び地域社会の健全な発展に資する各種プログラムの提供

前期に続き、すべての人の自由と尊厳、正義と平和、持続可能な環境が守られる社会に対する深い理解をもち、そのような社会の実現に貢献する人材 (ボランティア) の育成を行った。ボランティアは、習得した技能を活かし、視覚障害者向けに音訳テープの作成を行ったり、施設での対面朗読を行うなどして地域社会のために働いている。

また、会館一階をコミュニティ・スペース「わみゅう」という名称で地域に開放しており、この「わみゅう」で月に2回開催している高齢者の集いの場「シニアサロン ティールームよこはま」は、ボランティアが習得した技能や経験を活かして活動する場であると同時に、高齢者が地域で孤立することなく健康で自立した生活を送るための一助となっている。

(1)高齢者施設・養護施設・その他の社会福祉施設でのボランティア活動

① 洋裁ボランティア

全9回 場所：社会福祉法人横浜横盲学院 参加者：のべ43名

② 朗読ボランティアグループ「ゆりかもめ」

● テープ朗読

全6回

● 対面朗読

全2回

場所：介護老人保健施設ハートケア横浜

参加者：のべ4名

(2)ボランティア活動に資する知識を深めるための講座の開催

① 朗読ボランティア学習会

全2回 場所：横浜 YWCA 参加者：のべ15名

② 「ネイティブが教える 災害のときに使える英会話」

全2回

講師：デイヴィッド・マッキントッシュ (NCC エキュメニカル震災対策室)

場所：横浜 YWCA 参加者：のべ12名

(3)コミュニティ・スペースの運営

- ① 高齢者を対象にした交流の場 「ティールームよこはま」
 - 第1週 落語鑑賞、散歩、音楽鑑賞、お菓子作り、健康いきいき体操、音楽療法
全6回
講師：湊家恋路（横浜落語会会長）、岩崎八千代（不老町地域ケアプラザ職員）、桑島美穂さん（音楽療法士）
会場：横浜 YWCA、三溪園 参加者：のべ86名
 - 第2週 クラフト
全6回 講師：若林美代子 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ73名
- ② フェアトレードの紹介及び販売
働きに見合った適正な対価を支払うことで女性の経済的自立を促すフェアトレードへの理解促進のため、以下の地域の事例の紹介とその商品の展示販売を行った。
 - ネパールの女性協同組合が製作した衣料品や小物
 - バングラディッシュの聴覚障害をもつ女性グループの刺繍製品
 - フィリピン及びパレスチナ自治区において経済的自立を目指すグループの生産物
- ③ ブティックふるふる
使い捨て社会を考える目的で常設のリサイクル衣類コーナーを設置。
- ④ 東北地方太平洋沖大震災被災者支援
 - 福島県の農産品を販売
 - 福島スタディツアー
日程：2012年10月30日（火）～31日（水）
内容：福島 YWCA 及び菊田農園（福島市飯坂町）にて東京電力の原子力発電所の事故による被害の実態とそれへの取り組みについてお話を伺う
参加者：12名
- ⑤ 自助（セルフヘルプ）グループや市民グループへのスペース貸し出し支援
登録団体：3

5. 人権の尊重及び国際平和に資する各種プログラムの提供

人権の尊重、平和、また多文化共生への理解を深めることを目指し、講座の開催を行った。「英語で多文化セミナー」では、滞日・在日外国人を招いて出身国・地域についての話を聞く機会をもった。横浜市は、人口の約2%が外国籍であり、その国籍もまた約150か国に及んでいることから、英語によるコミュニケーションを通じて多様な文化について知り、また滞日・在日外国人との人的つながりを形成する重要な機会となっている。

(1) 人権・平和についての理解を深める講座の開催

- ① 「明日に生きる」憲法を学ぶ会
全2回 会場：横浜 YWCA 参加者：のべ9名
- ② キリスト教講座「言葉の宗教としてのキリスト教 イエスとの出会い」
日時：2012年10月19日（金）13:30～16:00
講師：牧野邦久牧師（日本基督教団横浜二ッ橋教会牧師） 会場：横浜 YWCA
参加者：17名
- ③ YMCA/YWCA 合同祈祷日 「暴力に勝利はないー人権と尊厳の尊重を目指してー」
日程：2012年11月17日（土）15:30～17:00
講師：尾毛佳靖子（日本基督教団 戸塚教会） 会場：横浜 YWCA 参加者：24名
- ③ オープンデー冬「もうひとつのクリスマス ～なぜクリスマスを祝うの？～」
日時：2012年12月8日（土）13:30～15:00
お話：野田美由紀（フェリス女学院中学校・高等学校宗教主任・宗教主事）

朗読：朗読ボランティアグループゆりかもめ『マッチ売りの少女』出演 16名

参加者：45名

④ 高校生平和大使+日韓ユースカンファレンス報告会

日時：2013年3月23日（土）14:00～16:00

報告者：片山宥那（第15代高校生平和大使、捜真女学校高等部）、小林真奈（日韓ユースカンファレンス副実行委員長）

会場：横浜YWCA 参加者：14名

(2) 多文化への理解を深める講座の開催

① 海外ゲストを招き多文化への理解を深める「英語で多文化セミナー」の開催

- 「生活スタイルを変えていく～市民とコミュニティの力で持続可能な社会へ Lifestyles in Transition」

日時：2012年10月6日（土）14:00～15:30

講師：キャサリン・ナガシマ（神奈川大学・横浜市立大学非常勤講師）

会場：横浜YWCA 参加者：20名

- 「放射能災害から日本再生 ～福島の実況 除染の効果と問題点～ Recovering Japan from Nuclear Disaster ～Radiological Situation in Tohoku area, Progress and Problems of Decontamination Efforts～」

日時：2013年1月12日（土）14:00～15:30

講師：マンフレッド・ブリンクマン（テュフ・ラインランド・ジャパン社）

会場：横浜YWCA 参加者：15名

6. 機関紙の発行

全2回（10月、3月） 発行部数 170部

II. 寄付

(1) 寄付

853,829円

(2) オープンデー秋

日時：2012年11月17日（土）10:00～15:00

会場：横浜YWCA

来場者：約80名

(3) 「藤井松良ピアノリサイタル～創立100周年に寄せるロマン派の調べ～」

日時：2013年2月23日（土）14:00～16:00

演奏：藤井松良

会場：横浜YWCA 入場者：約170名

III. 会館関係

1. 貸室利用回数（午前、午後、夜間を各1コマと計算）

- 公益目的事業等 316件
- 収益事業 567件
- 稼働率 49.1%

2. 事務所賃貸契約 3 団体

3. 会館管理

- 耐震診断 2012 年 11 月～2013 年 1 月
- 電気設備保安点検 2012 年 10 月 2 日 (火)、2012 年 12 月 4 日 (火)、2013 年 2 月 4 日 (月)
- 定期清掃 2012 年 11 月 11 日 (日)、2013 年 3 月 24 日 (日)
- 消防設備点検 2013 年 2 月 7 日 (木)
- キュービクルのブレーカーの取り換え 2013 年 3 月 11 日 (月)

IV. 補助金・助成金 (順不同)

- 横浜市職場実習事業協力金：720,000 円
- 横浜市特定建築物耐震改修補助金：1,140,000 円

V. 評議員・役員・職員・委員会等

(1) 評議員

唐崎旬代、金剛静慧、白石美奈子、友廣高也、三枝公一、三森妃佐子、安田和美、山口徳江

(2) 理事・監事

清水 (常山) 祐子 (代表理事)、岩松絹子、木村真理子、清塚典子、柴田美代子、倉戸 (井上) ミカ (業務執行理事)、関むつみ (監事)

(3) 職員

倉戸 (井上) ミカ、今地裕美子、平澤由比、岩松絹子、福村麻衣子、山本佳子

(4) 設置委員会等

運営委員会、100 年史編集委員会、広報委員会、花花カフェ協働運営委員会、チームゆう、ティールームよこはまチーム

VI. 外部関係団体 (順不同)

AIDS 文化フォーラム in 横浜、横浜災害ボランティアネットワーク

